

平成の終わりの年の 初日の出

昨年秋、オケラは満八十歳傘寿になりました。思えば20年前、還暦を迎えた時の年賀状に、‘子供の頃に見た六十のお爺さんは、何処から見ても年寄りで、あんなに長生き出来るかな、と思ったものでしたが、一つ一つ順繰りに取って来ましたら、割に簡単に六十になりました。然し 他人から如何見ようと、自分の意識の中では、まだ年寄りになったという気にはなれず、今日は単なる昨日の続き、遡ると子供の時の続きのような気分です。’と書いたことがあります。今になっても、この気持ちは変わっておらず、如何してこんなに、歳だけ多くなってしまったのか、と不思議に思います。とは言え 身体のうちこちは、不具合 故障だらけの上、15kg余りの体重増。それとの直接関係は判りませんが、頭の中は、最早 煎った落花生状態。振れば 乾いて固まった脳味噌が軋がって、カラカラと音を立てます。メケラも、満七十六歳。昨年が七十五歳でしたから、本年の七十六歳は、当然の成り行きなのですが、ここまでの1年分以上に、身体が動かなくなっているらしく、それまでは歩いていた距離を、タクシーを使うようになりました。天皇陛下がご退位なさるとかで、あれもこれも、平成最後の、が枕詞 この年賀状も、平成最後の。でも、本年は正にこれから。今後とも 相変わりませず、どうぞよろしく お願い申し上げます。

平成三十一年元旦

オケラ・メケラ